明治廿九年四月一日印刷
明治廿九年四月三日發行

婦人衛生雜誌

第七十七號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雑誌
第七拾七號
目次

講演
◉滋養物と人物との關係

衛生叢談
◉充塡
◉義齒
◉涅齒
◉ジンエナー氏百年期祭
◉流行感冒
◉芝邊の臺灣風
◉府下の天然痘
◉天然痘豫防の通牒
◉天然痘の病原
◉千葉縣の天然痘
◉宮城縣天然痘の猖獗
◉新潟縣に天然痘發生す
◉大日本女學會
◉全國配偶者及未配偶者
◉大日本私立衛生會總會
◉喇叭梅毒を傳ふ
◉牡蠣營養價値
◉衛生上の葡萄
◉大日本婦人衛生會支會設立
◉大日本婦人衛生會總會
◉廣告

大日本婦人衛生雑誌
第七拾六號
目次

講演
◉征清軍に於ける衛生上所見　醫學士　岡田和一郎君
◉千葉縣虎病視察復命書

衛生叢談
◉齒石及血石（前號の續）
◉齒牙交換期
◉乳齒及保護
◉齲齒及消耗病
◉牛乳の飲方
◉野戰衛生評
◉飯匙蛇の害毒と陳列
◉携帶糧改正
◉虎疫豫防談
◉衛生修醫學
◉露國衛生博覽會へ寄贈
◉大日本女學會
◉大日本婦人衛生會々況
◉廣告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第七拾七號
（明治二十九年四月三日發行）

講演

◎滋養物と人体との關係

凡そ百般の食品中其消化に從て体の組織に留存して身体の營養を掌るものは養分多き食品とす元來動物の性質たる新に体中に元質を製出するの力を有せず又或る元質を他の元質に變する能はず故に必らず其生成養分は其食料に因らさるを得ず而して人体を組織する所の元質は殆んど酸素水素窒素の三元素より成るものなり故に此三元素を多量に含む所の食品を撰用すること尤も緊要なりとす此等の食物は實に吾人の生活に必要の材料なり此材料なかりせば喩へば油なくして燈火の燃えざるが如く又蒸氣機關の石炭足らずして能く運轉せんことを望むが如し人は一日も此の世に生活すること能はさるべく健康を保つこと能はさるべし故に健康にしてよく勉强せんと欲せば滋養の食物を多く取らさるべからず世の益々文明に赴くに隨ひ人の腦を刺衝すること益々多き故に人彌々勉勞せんと欲せは亦いよ〳〵多く養品を取らさるべからず博士ランケストル氏は職工食量の多寡に應じて其勉勞に耐ふるや否やを鑑別せりと是れ即ち勉勞するものは又よく食はざるべからざるの事理を證するものと云ふべきなり昔し歐州全土を席卷して天下を聳動したる佛帝ナポレオン翁は身千軍万馬を指揮して軍事寸隙もあきに尙よく法例規律を編纂して頗る餘裕ありしと又翁は夜々

滋養物と人体との關係

眠ること僅かに四時間に超へずと此の如き繁忙多端にして大業をなす固より身体の壯健精神の活潑なるによるとは云へとも只翁は食物に就ては非常に注意したるものゝ如し殊に翁は鷄肉を嗜み毎日の食膳には必らず鷄肉を添へて一日を廢するなかりしと云ふ是れ蓋し日常の繁務に堪へ得へき一原因なるべし故に食物ありて初めて生活し滋養の食物多くして初めてよく十分の勉勞に堪ゆることは前に述べたる事例によりて明なるべしと雖とも人の食物を胃中に受くるは素と其量に限りあるが故に徒らに多量の食物を收用するは却て腸胃を害するの源を釀すに至るへしされば成るべく多量の滋養物を胃中に藏むる工夫を爲さゞるべからず故に滋養物多き食品を撰用するものは多くは健康にして精神も自然活潑なれとも常に粗食のみ爲すものは身体の營養乏しく元氣沮喪して物事に倦怠を生じ易くよく繁務に堪ゆるもの少し若し堪ゆるとするも爲めに疾病を釀すに至る故に文明の日に益々進むに從ひて彌よ〳〵多く滋養物を食すべきは明らかなりといふべし然るに玆に尤も惑ふへきは日本人躰育の事なり如何となれは我日本の文明は將に歐米を凌駕せんとするに拘はらず日本人体格の日に退步し特に少年子弟にありては顏色蒼白身体虛弱にして甚だしきものあり今にして之れが救治策を講せされば後世日本人種を如何せんや抑も〳〵日本人種は古來より果して身躰矮小なりしや否決して然らず近世の事實に就て證するも又以て知るへきなり安藝嚴島明神に藏する樂面七ヶ圖を掲くるを見るに皆巨大にして現今使用の品に類せす其尤も大なるものに至りては竪一尺四分橫七

寸五分にして其尤も小なるものと云へとも倚竪七寸五分横五寸七分あり樂面の大小を以て人面の大小を定め難しと云へども元來神樂等に使用したるものなれば必すや人面に相當したるものと想像するを得べきなり又古しへの著名なる人々の着用したる甲冑には實に今人の驚くへきもの多し八幡太郎義家の甲は其鍬形裏より後額面に至る間の距離を度るに八寸ありといふ又佐々木盛綱の甲は七寸五分にして新田義貞の如きも六寸七分ありしといふ之に反して今人の着用する帽子は古しの甲に及ふへきや蓋し其及はさることと甚だ遠しといふべし試ろみに今人躰格の退歩の諸點を擧けんに第一に學生には近視眼多く第二胃腸の薄弱第三腦病第四胸部の諸症等多き事是なり是等の諸症は之れが爲めに多くの入學試驗に不合格を致すに至る目下最も多く影響を及ぼすへきものは陸海軍諸學校にして之に次くは兵役檢査にして是等の虚弱なるもの多きに至つては爲めに体格檢査を緩にし少しく不完全なるものも之を軍籍に入るゝの已むを得さるに至り其結果は施いて國家の戰鬪力に影響を及ぼすに至る豈に嘆ざるべけんや然りと云へども此の如き病理的退歩は我紀元以前の時代より漸次に來りしにあらす其端緒は西洋文明の輸入時代より起因せるものと云ふへし顧みれば西洋の文明は今日一時に進化し來りしものにあらす歐米の人種千百歳の星霜の間に收得したるの結果なれば歐米人種には適當するや論を待たさるなり之に反し本邦の開化は維新以後僅々十數年の短日月を以て今日の如く長大足の進歩を爲したる事なれは一事一物吾れ〳〵の身体に影響を及ぼさゝるはなく精神

を疲勞せしめざるはなし是れ前に述へたる病理的原因よりして躰軀に影響を及ぼすに至れりと云ふも過言にあらさるべし今一例を擧けて之を證せんに從來本邦人は木版によりて日本紙に印刷せしものも文明の利器なる活版術により印刷することゝなりければ其鮮明なると同時に又微細の活字に目を曝し紙質の如きも從來の印刷物に比し既に光線の强度に於ても又大に異なるものあり又光線に於ても從來行燈の如き暗々なるものゝ火光を借り來りしと今や電氣燈あり瓦斯燈あり洋燈ありて深夜に至るまて眼を勞する等の事あるに於てをや近視眼の多き是を以ても怪しむに足らざるなり今日の學術社會を觀れは其錯雜して多忙なるは前に述べたる如し而して此等の腦力を養ふへき食物の程度は又此勞苦に對し適當なりや否食物の一點に至りては未だ舊態を改めす尙菜食を多しとす畢竟菜食を以て頻繁なる世人の榮養を供給するに足らざるが爲めなり故に目下の急務とすへきは第一に食物の撰擇に注意して躰軀の强壯長大を圖り古人に劣らさるの身体を養成せさるべからす或は云ふ今人の身体古人に及ばさるは今人の食古人に及ばざるの故なりと然れ共事實の上より之を考ふるに古人の食は多くは菜食にして今日の食物より尙數等を下りたるものなり然るに身体の壯大强健なるは實に不可思議と云はさるべからす今古人の食物の粗なりしことを證せんか爲めにこゝに某記事を借りて之を說かんとす

古昔は今日の如く白米を食ふことなく主として玄米を食したり尙伊勢太神宮春日神社等には尙粗末の米及黑米を備ふるを見ても知るべし又玄米の外

多く乾米を食ひ菜飯の如きも馳走の一とせり彼の北條時代に於ても其粗食なりしこと驚くへきものあり北條時頼の執權となりて大佛宣時と酒を飲むに味噌を肴とし織田信長の角力を觀覽するに僅々燒栗三個を用ゐたりと古書に見へたり尙此他藤堂高虎の酒井雅樂土井大炊等を招待して馳走するに當り如何なるものを饗せしやといふに大根の汁又はモクヅの冷汁あらめの膾田作の香の物等五色に過ぎざりしといふ此他古書を參考せは皆其粗食なるに驚かさるものなし然れば今人の食は古人の食物より遙かに勝るが如しといへとも今人の身体斯の如く次第に衰頽するや尤も見安きは明治に生れたるものと天保時代に生れたる人の身体を比較するに蓋し霄壤の差といふへきなり故に識者曰く日本人の人相は維新前と近來と餘程の差を生したる樣思はるゝ處あり以前の人相は何となく福々しかりしも近來書生杯の面を見るに頰こけ体格小さく何にとなく貧相になりたる樣思はると吾人も實に此言の當れるを覺ゆるなり今日の食物は昔日の食物に比し多少進歩せるに拘はらず身躰の如斯く退歩するは是れ食物の進歩の文明に伴はざるか故なり古への人は隨分學者とも云はるゝものも多く研學するものも多かりしか今日の如く生れて未だ幾くならさるに幼稚園に入らしめ尙進んで小學中學大學と夫れ〳〵高尙の學術を講究することは固より昔日の比にあらずして爲めに机に憑りて勉學の日多く加ふるに營養乏しき食物を食ひ運動の不充分と共に益々疾病の原素を養成するか如しといふべしスペンセル氏曰く今人若古人と同樣の食を食ひたらんには今人必す短矮とならんと云ひしか蓋し

今人の事務繁雑にして身体疲労の遙かに古人に優る上に付て論じたるものなり況んや我國民の如き維新急變の開化を受けて文明を得たるものあれは宜しく相應に食物を改良し菜食を第二として肉食を第一となし身体を運動して血液の循環を計り我國民固有の躰軀を完成せさるべからさるなり殊に日本女子の体育に冷淡なるは實に驚くに堪たり甚しきに至てては數周數日外出することなく徒らに深窓に閉居して僕婢を左右に侍せしめ維れ命之に應せしめ偶々外出するも馬車若しくは車夫を傭し足地を踏まざるが如き實に衛生上の大欠点と云はざるべからず英獨米の女子の如きは食物の撰用と身体の運動とは頗る留意し食後は必ず運動の爲めに自から所用を兼ね家内需用品購求を兼ね散歩して日々怠ることなしといふ我國婦人の運動は未だ歐米の如きを望むべからずと云へとも日々此意を服膺せられ定時庭園内の運動にても必らず試みられんこと冀望に堪へざるあり徒だに食物を改良するも運動不足にして穀氣消化せざれは恰も木によりて魚を求むるの類又何の益かあらん今藥學士兒島高里君の編纂にかゝり特に本會に寄送せられたる衛生綱鑑に基き營養品分析表を次に掲載し以て聊か食物調理の參考に資す

營養品分析表

第一　穀類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纖維素	灰分	水
加賀産	六、五六	〇、三四	七三、二六	〇、四〇	〇、三〇	二〇、一四
白米水	八、一四	〇、二〇	七一、一三	〇、四八	〇、三六	一九、六九
洗	五、七七	〇、三三	七三、四六	〇、四五	〇、四四	二〇、五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纎維素	灰分	水
米飯	三、〇〇	〇、〇四	澱粉 三、七一 術酒 〇、〇一	〇、三	〇、一六	六二、八五
大麦水洗	九、九七	一、六二	七三、〇二	一、六四	一、四二	一三、三五
麦飯	三、七七	〇、二三	一八、七四	〇、七七	〇、四三	七六、〇六
粟	一一、五七	五、五五	六五、三四	一六、五	二、五五	一三、三四
粟飯	四、九六	二、七二	三一、九七	〇、七六	〇、七九	五八、八〇
黍	一〇、三七	三、六〇	六九、七二	〇、九一	一、八〇	一三、六〇
稗	八、九七	〇、九八	七二、九八	三、〇一	〇、三八	一三、〇三
小麦粉	一一、七〇	〇、九七	七一、〇三	〇、七六	〇、五七	一四、九七
蕎麦粉	一三、一三	二、七三	六八、六六	一、一六	一、四三	一三、九〇
糖	一三、一六	一三、八二	一四、六七	二〇、八五	二六、一五	一三、三五
日本麺包	五、五一	〇、二〇	五五、一六	一、〇九	〇、七三	三七、三一
同	七、九七	〇、〇九	五二、二七	〇、七六	〇、八二	三八、〇九

第二 菽類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纎維素	灰分	水
黒豆	四〇、二五	一八、二六	二一、九七	三、八八	四、五五	一一、〇九
大豆	三六、七一	一七、四三	二四、九三	二、四七	五、〇〇	一三、四六
小豆	二三、〇一	〇、四六	五五、三九	六、四四	三、〇六	一二、七〇
豌豆	二三、六九	〇、五六	五一、〇三	七、三〇	二、四九	一四、九三
蠶豆	二八、八八	一、二九	四九、七四	一、一三	三、一一	一五、七六
菜豆(いんげん)	二〇、三〇	一、〇七	五三、一九	四、四六	三、四七	一七、五一
刀豆	二三、一七	〇、一四	五、三三	二、二八	〇、九一	八八、九六
鵲豆	二、六三	〇、一五	二、三五	二、四六	〇、六三	九二、一六

第三 根及球根類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纎維素	灰分	水
甘藷	一、三五	〇、一九	二四、六〇 四、一七	二、四八	〇、九三	六六、二八
里芋	一、四〇	〇、〇八	一二、七〇 内 一〇、四 〇、一三	〇、六三	〇、九九	八五、二〇
八面芋(やつがしら)	二、七八	〇、二九	二五、六九 内 一八、〇〇 四、四八	一、一五	一、二八	六八、八一
薯蕷	二、七五	〇、一三	一七、九七 内 一四、八〇	一、一九	一、一七	七六、二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

滋養物と人体との關係

佛掌薯（つくいも）	二、八五	〇、二二	二四、七 三、二〇 〇、八五	一、七五	一、二六	八〇、三三
蓮根	一、七〇	〇、〇八	一〇、八六 澱粉九、二	〇、八四	一、一三	八五、三九
土當歸（うど）	一、〇六	〇、一〇	澱粉 二、〇五 葡萄糖 〇、四二	〇、七〇	〇、五七	九五、一〇
蕪菁	一、六二	〇、〇七	二、八二 葡萄糖 一、二三	〇、七一	〇、七六	九四、〇〇
慈姑	四、二七	〇、二〇	二四、三六	〇、四五	一、四四	六九、二八
大根	〇、七三	〇、〇一	三、七〇	〇、七七	〇、四九	九四、五五
胡蘿蔔	一、二五	〇、三五	七、四一	一、一〇	〇、七七	八九、一三
牛蒡	一、三六	〇、〇七	二五、二三	二、一八	〇、六三	七〇、五三
葱	一、四七	〇、〇七	四、三三	一、〇六	〇、四四	九二、六三
百合	三、三四	〇、一二	二四、一五 一九、一〇 〇、六二	一、四二	一、三五	七六、八〇
馬鈴薯	一、四九	〇、一〇	一九、三二	一、三六	一、〇三	七六、八〇
荷	一、八二	〇、一〇	五、六四	一、四二	〇、七四	九〇、二六
第四　莖葉類						
水芹（せり）	二、〇二	〇、一三	三、二三	—	〇、四二	九三、六〇
薇	二〇、二六	〇、四九	四一、九六	二〇、二五	〇、七四	六、三〇
蕨	二、八三	〇、一三	一、四二	三、二七	一、一八	九一、一八
菠薐草（ばられんさう）	二、〇二	〇、一三	三、三三	—	一、〇四	九三、六〇
芋莖（いもがら）	四、〇八	二、〇九	四一、〇三	二一、六三	八、八三	二三、三四
根芋	一、一三	〇、〇八	二、五二	〇、四八	〇、六八	九五、一三
款冬（ふき）	〇、〇四	〇、四〇	二、七三	〇、七一	〇、五二	九五、六〇
コマツ菜	二、五二	〇、五二	一、一八	一、七九	一、三八	九二、六三
トウ菜	一、七四	〇、三三	〇、九三	一、一七	〇、八九	九五、〇五
三ツ葉	〇、八六	〇、一三	二、四六	一、二八	一、三三	九三、九六
京菜	二、一三	〇、一六	〇、二二	一、一六	一、〇七	九五、二八
第五　種實類						
銀杏	三、八七	二、一八	四二、七一 葡萄糖 一、六五	〇、三九	一、八五	五〇、〇〇
白胡麻	二〇、五四	五一、五七	三、六〇	—	八、三六	六、九三
黒胡麻	一九、六五	四四、一五	一九、四三	—	一〇、一三	六、六五

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纖維素	灰分	水分
桃胡	二八、四七	五九、一八	三、一九	一、五四	二、八八	四、七四
乾柿	一、五〇	〇、三三	六三、三三 葡萄糖 二二、五四	—	一、六七	三一、四九
柿	〇、五八	〇、〇二	一三、五六	二、七六	〇、四三	八三、六五
推子	三、三七	〇、七三	六〇、五二	二、二八	一、一三	三一、九八
胡瓜	〇、八五	〇、〇八	一、九六	—	〇、四七	九六、六四
甜瓜	一、一五	〇、四八	四、一〇 內葡萄糖 二、五〇	一、二四	〇、五九	九二、四四
茄子	一〇、〇〇	〇、〇六	三、一一	一、四一	〇、四二	九〇、二四
冬瓜	〇、二六	〇、〇二	一、七二	〇、三五	〇、三三	九七、四三
栗	二、九〇	〇、三八	三六、四九	一、一三	一、二三	五七、八九

第六　海藻類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纖維素	灰分	水分
裙帶菜	二、六二	三七、八二	—	三二、三五	一八、九二	
羊栖菜(ひじき)	二、三七	〇、四九	五四、八四	—	一七、五六	一五、七四
昆布	七、二	〇、八七	四七、七〇	—	二二、二四	三、〇八
青海苔	一九、三五	一、七三	四六、一八	—	一九、二二	一三、五三
乾海苔	三三、七五	一、三〇	四一、三三	—	九、七五	一三、九八
黑菜(あらめ)	九、五八	〇、四六	五一、六三	九、七九	九、七二	一八、七五

第七　菌茸類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	灰分	水分
椎蕈	二、六三	一、六八	六七、七三	四、三七	一四、九九
松蕈	三、七三	〇、七六	三、七八	一、〇〇	八一、七三

第八　魚類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	灰分	水分
鯛 脂肪多キ	一七、六五	三、〇〇	一、三六	七七、九〇
鯛 脂肪少キ	二〇、二八		一、二八	七七、六一
比目魚	一九、一六	〇、七五	一、三	七九、二五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

滋養物と人体との關係

營養品名稱	蛋白質	脂肪	灰分	水分
鰈	二一、九三	〇、七四	一、四五	七五、八八
竹麦魚	一八、一二	三、三〇	一、二〇	七七、三八
香魚	一七、六六	一、八九	一、五五	七八、九〇
馬鮫魚	一九、二一	一、六六	一、三五	七七、七八
鮪	一五、七九	一〇、六四	一、八二	七一、七五
鮪	一七、〇七	四、五一	一、四二	七七、〇〇
松魚	二五、〇六	一、二一	一、〇〇	七二、七三
鰊	六八、四四	一三、八六	六、八五	一〇、八五
鯖	二一、一〇	四、八八	一、五二	七二、五〇
鰶	二〇、四三	四、七八	一、四五	七三、三四
蝦虎魚	一八、三五	〇、五〇	二、〇二	七九、四六
鮒	一七、八六	一、四五	一、二三	七九、九九
鱚魚	一八、〇九	〇、六〇	一、三二	七九、九九
鰆魚	一九、九八	〇、九一	一、二一	七七、九〇
鰤	二一、九六	一、四五	〇、八六	八三、〇七
栫魚	一六、二四	二、八三	〇、八六	八〇、〇七
鯉	一八、九四	〇、八三	一、三七	七八、八六
鱸	一八、六二	二、五九	一、〇九	七七、七〇
鮟鱇魚	一三、〇七	〇、一二	〇、九五	八五、八六
鰛	二一、二九	六、七二	一、六四	七〇、三五
鰺	二一、〇〇	〇、七五	一、五二	七六、七三
石斑魚	二一、〇三	〇、四五	一、五七	七六、九五
ムツ	一七、九五	六、二〇	一、一四	七四、七一
針魚	三九、一八	一、六〇	二、三七	五六、八五
イッサキ	一九、六二	〇、八〇	一、三四	七八、二四
鱠殘魚	一八、七三	〇、三〇	一、五八	七九、三九
尨魚	二一、一四	一、七二	一、四〇	七五、七四
梭魚	一七、九九	二、一一	一、二五	七八、六五
鯰	一八、三五	一、四一	一、二〇	七九、二四

營養品名稱	蛋白質	脂肪	灰分	水分
鰻	三、〇九	二、五三	一、一四	六九、二四
泥鰌	一八、四三	二、六九	一、五六	七七、三三
鮫	二四、八二	〇、五〇	一、〇九	七三、五九
鯔魚	一八、五五	一、一八	一、二七	七九、〇〇
カサゴ	二〇、〇七	〇、四一	一、一四	七八、三八
虎魚	一八、四二	〇、二〇	一、二四	八〇、一四
カンパチ	二一、一二	〇、八八	一、五七	七六、四三
鞋底魚	二二、三七	〇、八七	一、四七	七五、二九
龍蝦	二一、五二	〇、四二	一、一七	七六、八九
青蝦	一八、九七	一、〇二	一、五一	七八、四九
章魚(乾物)	七三、一四	一、三八	六、七五	一八、八三
烏賊	一九、一二	〇、五六	一、四一	七八、九一
鹽鮭	二六、一〇	三、一四	九、二〇	六一、五六
鹽鱈	一八、六〇	〇、一五	三、五五	七七、七〇

營養品名稱	蛋白質	脂肪	灰分	水分
鯨脂	七、七六	八一、六四	二、二五	八、一四
鵇毛鯊	四九、六二	二、〇七	三、八〇	四四、五一
鰊腹	二〇、六四	一、二五	〇、四五	七七、六六
螟蜅乾	六九、五二	三、二三	六、一七	二一、〇八
シコ目刺	二九、一八	六、二〇	九、九一	五四、七一

(以下次號)

衛生叢談

◉充塡

前號既に述ぶるか如く齒牙は腐朽の大ならさるに方て充塡せさる可からす蓋し其時期たる齲蝕琺瑯質を經て象牙質に入らんとし冷熱、甘酸味の飲食

に遇ひ微痛を覺知するや速かに齒科醫の門に來れ然るときは其充塡物は能く永久に耐へ鴻益を將來に收むるを得るも世人の多くは病機漸く熟するに非されは其治療を乞はさるを以て施術の反復を要し時としては拔去の止むを得さるに及はしむることあり今や齒科の術は大に進步し其缺損せるものも人工の齒牙を造り殆んと天工を奪ふの外觀を回復するとは雖も豈に全く天與の齒牙に優るを得んや旣に充塡療法の在るあり須らく依賴して以て天然齒の保存を圖らさる可からす然れとも往時齒科術の開けさるに方り齒牙の病は呪咀、祈禱の外拔齒の一療法あるのみにして所謂齒拔師に托するの餘習と近來彼等齒科醫の術を倣ひ充塡を施すあるも固より無學無識病症を鑑別するの明なく防腐の處置亦之を知らす反て充塡後一層の劇痛を發し其結果患者をして充塡は無益の手術たるの觀念を起さしめ徒らに其腐朽を放まゝにせしめ再ひ疼痛すれは普通醫家に走り拔齒を乞ふか如き往々見る處嗚呼千金の寶玉も齒牙の一片に値せさるなり思はさるの甚しきものと謂ふへし吾人は彼齒拔師を忌むと共に其不幸なる患者を憐まさるを得す

●義齒

義齒は人工の齒牙なり天然の齒牙を失ふたる者之を用ひ飲食消化言語音聲を調へ衰老の容貌を復すへし輓近行はるゝ處の洋風義齒は通例磁製齒に金屬及硬護謨「セルロイド」の床を附し密に齒齦或は口蓋粘膜に襯着し少しく慣用すれは口内に在り毫も異物を含むの感覺を有せす固より他に患害を及はすなく齒色形狀の如き殆んと眞に逼り其功用に至ても亦天然の齒牙に讓らす又齒根健全にして骨

中に在殘せるものは樞軸に依て床を附せす人工齒冠を固着挿入するを得るへく其他義齒裝置の法多しと雖も一々玆に論するの要なきを以て之を畧せん

然り而して齒牙は假令一二齒ゝ脱落と雖も速かに義齒を嵌用されは言語咀嚼の困難は勿論、隣齒及對齒に餘害を及ほすものあり何んとなれは各齒は其咬合の際個々一齒と相對するに非すして恰も煉瓦の築造の如く一齒互に一齒と相對合するか故に若し二齒連續して損失すれは反對齒は抗抵力を失ひ挺出して他の齦肉を咬み終に動搖して脱落すへし又一齒の損失に於ては隣齒其空處に向て顚倒し或は近傍齒の齒間に離開して外觀を損失するの憂あり加之あらす之か爲め患部即ち空處に異狀を呈し義齒の裝置に困難にして完全なるものを得る能はさるに至るを以て拔齒後の如き其創痕癒合するや否や義齒製作を依頼すること肝要なり

本邦古來の義齒は外見の拙劣と加ふるに咀嚼の用に耐へす其材料は齒床共に木製なるあり骨牙、角質、蠟石の類を木床に植へしあり此等の材料の多くは飮食物に侵襲され爲めに惡臭を放ち其汚液食物と混下し胃腸を害し碎脆して缺損し易く永久に耐ゆる能はす且つ糸を以て隣齒に結か故に次の健齒は其部を腐蝕せられ或は動搖脱落せしめ終には一齒なきに至る又總義齒の如き其床厚くして重さを以て口内常に不快を感し洋風義齒の巧妙にして實用に適するに若かさるや遠し然りと雖も洋風義齒も製作不完全なるものは舊套義齒と何そ異ならん受療者亦玆に心して彼敗德入齒師の甘言に欺かるゝ等のことある勿れ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉涅齒

涅齒は我邦往古より行はるゝ處の風習にして婦女の嫁するや必ず鐵漿を以て齒を染むるを例とす獨り婦女のみならず中古以還公卿及士人も亦涅齒せること史書に徵して明かなり今世男子の固より之を染むるなく婦女も亦染めざる者稍ゝ多しと雖も全國既婚婦人を通計せば蓋し涅齒者多きに居らん習慣を改めしは唯に都會の地にのみ止まれるか如し是亦一時風潮に感化して然るのみ眞に其弊害を知り之を改むる者僅々稀に見る處なり行ふて而して其理を知らずんは矮人の觀場と何ぞ異ならんや

抑も鐵漿の性質たる有機酸を以て鐵を溶解し五倍子を加へ黑色となせしものなり又彼「かねした」なるものも亦酸類を以て製造せられ皆齒牙に塗布すれは其酸液能く琺瑯質を溶解し其滑澤を失ひて粗糙ならしめ鐵漿之か爲め染着し易からしむ夫れ酸類の酷厲なる金石を溶解す況んや酸と親和し易き土質より成形する處の齒牙に於てをや試に涅齒せる齒牙を驗するときは點々として殆んと肉眼見る能はざる無數の小孔を有せり且つ婦人は鐵漿の剝脫を憂ふか爲め自然口內の清潔法を怠たるを以て皆齲齒の原因となり齒牙朽缺崩壞し咀嚼の作用を失ひ消化機能を傷ひ從て全身諸病を發起す嗚呼婦女の病弱は一人に止まらず延て子々孫々に及へは其極や一國の富强に關すと云ふも誣言に非さるなり文身既に政府の禁令あり鐵漿の害此如し何ぞ其禁令の之れなきや太皇太后及皇后兩陛下は明治六年三月を以て天皇陛下の斷髮と同時に黛を落し鐵漿を剝し給へり同胞姉妹亦何ぞ速かに兩陛

下を學はさるや

◉ジェンナー氏百年期祭

今や府下を始め各地に天然痘發生するに至り府下各區の吏員は種痘の勸誘に勉め人々我を爭ふて牛痘接種を行ふ抑も〳〵此大恩澤は實に種痘發明者エドワード、ジェンナー氏に歸せさるべからす今年は恰もジェンナー氏發明百年期に相當すといふ是れか爲め私立奬進醫會は去月四日不忍長酡亭に於て此大恩人の爲めに種痘發明百年期紀念會を開き其功績を表彰せりジェンナー氏は一千七百九十六年五月十四日英國に於て前代未聞の牛痘接種の第一試驗を行ひ好成績を得遂に大發明をなすに至りしといふ因て此祭典に際し同氏の傳記肖像を石窨に造らしめ以て當日の祭典を擧けたり歐米各邦に於ても本年此祭典を擧行するの計畫ありて露西亞の如きは種痘に關する論文を募りて賞金を與へ種痘に關する展覽會を開きなどして盛なる祭典を擧行すと云ふ

◉流行感冒

過日來府下至る處感冒の流行し一名臺灣風と云ふ孰れも數週間床に臥し中には肺焮衝に變ずるものもありて最初に療養を怠る時は由々敷大事に至るよしなれば御用心か緊要なり天明の昔し咳風邪流行したる時「これやこの行くも歸るも風邪ひいて知るも知らぬも大方は咳」と云へる換歌行はれしか昨今も又其類ひなるべし

◉芝邊の臺灣風

昨今芝邊一圓感冒大に流行し衛生通の調査によれば各戶一人以上の病人あらざるなく醫師は目を廻す程多忙なるよしなるが何れも之を臺灣風と稱し

非常に恐怖し居れりといふ

◉府下の天然痘

府下の天然痘は其後益々猖獗の勢ひあるに依り府廳及警視廳に於ては之が豫防に怠りなき事なるが今初發以來去月二十日迄の罹痘を聞くに總數六十三名の多數に及びたり其患者區分は左の如しと

本所區	二五	麹町區	一	神田區	四
芝區	一	牛込區	一	日本橋區	五
小石川區	一	下谷區	二	淺草區	九
深川區	七	南葛飾郡	一	南多摩郡	一
北多摩郡	四	南豊島郡	一		

◉天然痘豫防の通牒

昨今各府縣に於て天然痘の發生漸く增加を見るに至りたれば之れが豫防として頻々種痘を施行せさるべからざるに僻遠地方に於ては尙往々之れを厭ふて種接せざるものも尠からざれば是等心得違ひなく普く種痘豫防の法を受けしむるやう一般に注意を與へらるへき旨特に各府縣より各郡區役所へ通牒せられたりと

◉天然痘の病原

昨今府下に天然痘患者發生して追々流行の兆あり現に本所區に五人淺草區に二人下谷區に一人ありて目下治療中なるか其筋に於ては之れか發生の病原を質すに現時の發生患者中には多く綿打職又は古綿を取扱ふものゝみにて淸國より輸入の古綿より病毒を齎らしたる形跡ありて現に綿打職より三名の患者發したれは右等の職業者は特に注意すへしとなり

◉千葉縣の天然痘

千葉縣下にては新年以來一人も天然痘患者をを出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さゞりしが去月末東葛飾郡船橋町に一名の患者を出したり原因は特發なる由にて其筋にては夫々豫防に盡力中なりと云ふ

◎宮城縣天然痘の猖獗

宮城縣下の天然痘は益々猖獗を極め去る二月二十七日以來新患者三十四名を出したり又現在患者は七十五名の多數に及べりと

◎新潟縣に天然痘發生す

同縣下にては頃日來天然痘流行の兆あり高田魚糸川に同患者を發生したるに付縣廳に於ても豫防の注意怠りなかりしが去月廿二日に至り西頸城郡能生村に一時五名の患者を發生したりと云ふ

◎大日本女學會

前號既に同會趣意書を揭載せしが尙續きて其役員を記さんに總裁には小松宮彰仁親王妃殿下を仰ぎ副總裁には侯爵夫人鍋島榮子を推し賛成員には毛利公爵夫人大隈伯爵夫人仁禮子爵夫人濱尾新君夫人鳩山和夫君夫人西紳六郎君夫人加藤弘之君夫人高木豊三君夫人南部甕男君夫人馬渡俊猷君夫人等にして諸務は山澤俊夫津田哲藏峯昇二郎飯島廣三郎種村宗八の諸氏にて處理し通信敎授講師には修身を華族女學校々長細川潤次郎君大日本弘道會長西村茂樹君に國文を華族女學校敎授關根正直君に作歌を日坂正臣君に地理及歷史を大學院在學文學士大森金五郎君に理科を工學士近藤金次郎君に博物を理學博士石川千代松君に作文を城北中學校長今泉定介君に習字を御歌所勤務大口鯛二君に家事經濟及育兒法を女學高等師範學校敎諭後閑菊野君に家庭敎育を三輪田眞佐子君に生理衞生看護法を醫學士吳秀三君に禮法を女學高等師範學校敎諭

佐方鎭子君に裁縫を渡邊辰五郎君に割烹活花點茶を元華族女學校教師田邊和氣子君に小說を依田學海翁等に執筆を乞ひ每月一回發刋せるよしなるか今其會則を擧ぐれば左の如しといふ

大日本女學會規則

目的

第一條　本會は通信敎授の方法に據りて女子敎育の普及發達を圖りむねと賢良貞淑の品性を涵養するを目的とす

講義錄

第二條　本會はこの目的を達せむためそれ〲專門の大家に請ひて其口授又は執筆せられたる講義を蒐め之を發刋して各會員に頒つ

第三條　講義錄に揭載する科目は左の如し

修身

貞淑の德を涵養せしめんが爲め第一に此科を置き和漢洋の學に涉獵せられたる兩大家の講義を揭く

國文

こゝに國文といふは所謂中古の物語文などをさすにあらずおもに近世の學者の手にありて普通文の模範となるへきものをいふなりさてそのうちよりことに女子の心得となるべきものをえらびてこれを俗解しもて普通の國文に通せしめかたはら作文の助となさんとすこれ國文講話の主旨なり

作歌

此科は女德の涵養に欠くべからざる諷詠の法を敎授するものにして歌の何物たる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かもいまだ曾て知らざる所の女兒にすら容易く了解せらるべく極めて平易に極めて深切に説明しそれをして自在に詠出せしむるを目的とす初に之を詠ずる心得を述べ次に歌題の意義を釋き且その作例を添ふ

地理及歴史

地理の科目にては山川風土氣候物産等の事項を繁簡の中庸を取りて平易明瞭に講述す又歴史の科目は古今成敗興亡の事蹟に就き其要領を知らしむるにあり

理科

此科の講話にては凡て天然界に關する學問即ち理科學の中、別に設くる所の博物學を除き其他は皆之を講す、而して諸學科及び諸部門を別たず極めて普通なる事物の二三を取りて其性質、變化、營力等を勉めて平易に講述し不知不識の間に理學科の思想を受得せしめんことを期す

博物

子供の觀察力を強くし其の知識を發達せしむるは博物の講話に如くものはなし故に其講話には主として家庭教育に必要なるものを載せ、子供の母となり姉となるものをして野外に遊歩するの間、動物園、博物館若くは觀せ物等を見物するとき、子供の疑問に對して之れに答ふることを得るのみならず、子供が氣付かざる事物をも教示し得る様に爲し、幼稚なる腦裡に自然の知識を納めしめ、其心をして

高尚優美ならしめんと欲す

作文

此科目は明治の女子書翰文の標準を示し其沿革を略除し又古人の書翰文を批評す

習字

習字は女子藝能の本題なり、と古人も言へるが如く、此科の女子に必要なるは今更いふまでもなし、此科目にては毎卷肉筆と毫も異なるところなく尤も鮮明なる石版摺の手本を添へ、極めて平易にきはめて懇切なる執筆法、書式等の説明を加へ、本邦特有の美術と稱す可き高尚優美なる國字の書法を、面のあたり其師に就きて學ぶが如く、容易に習熟することを得るやう方法を設けたり

一、この習字の手本につき練習せられたる清書の批評を受けんと望まるゝ時は、半紙に二通を認め返信料を添へて送附せらる可し

一、清書の批評は其字態の佳なるには圏點を附し、其書法に叶はざるには直しを加へ二通のうち一通を返送す可し

一、時々奬勵の爲め競爭清書を募集し擔當講師の選定を經て、其良好なるものには、本會より褒狀及賞品を寄贈するとあるべし

家事經濟

家事經濟は家政中の主なるものにして即ち衣食住に關する一切の家事を管理する

道を講ずるものなり凡そ一家經濟の本は衣食住に在り故に人々各其生計の度に應じ衛生經濟便利の三要點に就きて注意斟酌し能く其目的に違はざらんことを勉めざるべからず即ち今爰に説く所は住居の事に關しては場所の撰擇家屋の建築居室の間取門牆庭園等に於て注意すべき諸件食物に關しては滋養物の品質及び其種類献立幷に調理法に關する事項衣服に關しては材料の撰擇裁縫の心得保存の方法等を説き幷せて家計簿記法に就て帳簿の種類記入の方法等を説明するものとす

育兒

子女教養の事は最も大切なるものにして其法を得ると否とは大に其兒の賢愚強弱に關し施いて一家の盛衰に及ぶものなり故に育兒の法は決して簡單容易のものにあらず是を以て其任に當るものは能く其法を知悉して之を實際に應用し兒童の精神及び身體を教育保養して以て善良有爲の人材を養成せんことを勉めざるべからず即ち爰に説く所は體育智育及び德育の要旨に基き胎兒初生兒哺乳兒乳齒兒學齡兒の五期に分ちて其心得を説示するものなり

家庭教育

此科目は先づ家庭教育なるものゝ本體を述べて過去及び現在に於ける世人の誤謬を正し次きて善良なる標準を説き完全なる方法を論じ個人の幸福國民の光榮を

策するあり今これを細別して十三章に分つ

第一はしがき、第二家庭敎育の範圍、第三母たる資格、第四幼年發達の實相、第五往時の家庭敎育、第六家庭敎育につき現今の誤謬、第七身躰の攝養、第八如何にして德性を養ふべきか、第九智能の啓發、第十圍繞する事情の影響、第十一罰賞につきて、第十二善良なる方法、第十三結論

生理及衛生

人躰の組織構造を說き諸機關の働き振りを示し其健康に注意すへき事項を講述す

看護

一家内に病人の有るとき其世話を爲すは最も婦人に適當なる任務なれば此科目を置き病人に對する一般の心得となるべき事項及ひ方法等を講述す

禮法

禮法の目的は容儀を整へ擧止を正うし言語を愼み自己に在ては其品位を保ち他人に對しては交際を圓滑ならしめ且外、形を正うして內、其心を制し以て道德を進むるの資と爲さんことを要す今此目的を達せんとするには進退周旋の方法と禮法に就きての心得とを知悉し之を適當に應用する事最も必要なり即ち心得に於て說く所は家族間に於ける禮法の必要師友に對する心得服裝に關する心得接客及訪問に關する心得、饗應及儀式に就いての心

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得等なり又實習に於ては起居進退拜禮等を初めとし物品の授受進撤及供饌に關する事項を坐禮又立禮に就きて說明するものとす

裁縫

此科目は極めてたやすき普通の衣服の裁縫より說き始めて知らず識らずむつかしきものに進む樣務めて分り易き言葉にて懇切丁寧に講義し又明治十七年の服制に依り其積方裁方縫方等を述べ終りに裁縫敎授の方法に及ぶ

割烹

普通の料理を始め後に和洋折衷の法に及ぶ

活花

四季の花普通の挿方を講ず

點茶

夏冬薄茶濃茶の手前普通棚物扱并に會席順序主客の心得等を述ぶるに在り

小說

小說は遊戲に似たりといへども、またこれを借りて史傳のいまだ言はざる所を補ひ、大に初學の爲に益あるものあり、漢土の三國演義、又は南北宗志傳の類、數ふるに暇あらず、こゝに小說の一科を設けたるは、徒らに遊娯に供するのみならず、その說く所は正史實傳を基として、正邪曲直を誤たず、つとめて貞烈の女子が、心情行實の隱微を發露し、もて讀むものに、油然として興起せしむるにあ

り、世の美術を名として、淫猥の事を叙して、人間の境遇を寫すとし、みだりに悲哀を示さんとして、殘酷悲慘の情を描くものと、大にその撰を異にす、よくこれを玩味し給へ

詞藻　諸名家に請ひて其ものせられたるもの又は會員の寄送に係る和歌和文等を收錄し以て會員研究の資料に供す

雜錄　會員の參考に資すへき説話を收錄す

雜報　女子教育界の新事項を報道す

第四條　講義錄は講習の期を二ヶ年と定む

第五條　講義錄は毎月に一回(二十五日)刊行す

第六條　講義錄は平易簡明を旨とし振假名を施し傍註をも加ふ

第七條　講義錄は菊判にて一頁十四行三十二字詰として一回の紙數は二百頁を下らざるべし

第八條　本會の會員たらんものは女子に限るべし但し事情によりて男子の名義にて申込まるゝも差支なし

第九條　本會の會員たらむとする者はかねて本會に定めたる入會の書式に據り入會金參拾錢と第十二條に定めたる一ヶ月分以上の會費とを添へて其旨申込まるべし

表

入會書雛形　(用紙半紙)

入會書

住所　何某

此度貴會へ入會致し候上は御規則堅く相守り申すへく候也

年月日　右　何某㊞

大日本女學會御中

第十條　本會の會員には會員證を交付す

會員證雛形

表

總裁　署名印
會員之證
副總裁　署名印

裏

割印
姓名
明治廿八年十一月　日
大日本女學會印

第十一條　事故によりて退會せむとするときは會員證を添へて届出てらるへし此場合には會費の殘餘に對する講義錄の配付を爲すべけれども現金の返却をば爲さゞるべし

會費

第十二條　本會の會費は一ヶ月金參拾錢とす

但し一時に一ヶ年以上を前納せらるれは五分を減し二ヶ年全納は一割を減すべし

第十三條　會費は毎月の終りまでに其翌月の分を前納せらるべし

第十四條　郵便爲替にて會費を納付せらるゝときは其拂渡局を「市ヶ谷田町」と認め其受取人欄に「大日本女學會」と記入せられたし

但し郵便切手代用は一割增のこと

第十五條　會費を受取りたる證としては講義錄を配付し別に受取書を發せざるべし

但し特にその通知を得んと望まるゝ人は豫め返信料を添へられたし

第十六條　會費滯るときは講義錄の發送を停む

質問及び會員詞藻

第十七條　講義録中に疑義あらば何時にても質問するを得

第十八條　質問の一般に有益なるものは講義録に掲載して汎く會員に示すとあるべし

第十九條　會員の投寄せる詞藻の秀抜なるは會員詞藻欄に收録すべし

雜則

第二十條　本會はをり〳〵女子教育に關する懸賞問題をいだし優等の者には賞品を贈呈せんとす

第二十一條　會員の住所姓名を變更せられたるときは直に其旨を通知せらるべし

第二十二條　返信を要すべき書簡其他には凡て返信料を添へらるべし

補則

一、二個年講習の上は望みに依り總裁副總裁各講師署名の修業證書を授與すべし

◎全國配偶者及無配偶者

現在の全國人口を配偶の有無により區別せは左の如しといふ但此統計は二十七年十二月三十一日調に依るものとす

有配偶　一千五百卅六万一千四百五十八人
男女同數
無配偶　二千六百四十四万八千七百四十四人
男一千三百四十四万〇六百六十九人
女一千三百〇〇八千〇七十五人

◎大日本私立衛生會の總會

大日本私立衛生會の第十四次總會は來る四月十一十二の兩日神戸市相生座に於て開會し神戸支會にては十日より十日間衛生參考品展覽會を開き尚ほ十二日には園遊會を催ほす筈あり右に付鐵道局其

他鐵道局及び滊船會社にては賃錢の割引するに依り參會の人は同會より割引證劵を差出すとの事なるが定めて盛會なるべし

◉喇叭梅毒を傳ふ

接吻の恐るへきは本誌にも屢々記する處あるが接吻程尤も危險にして恐るべきものはなし婦人は兎角に他人の小兒を抱き取りて接吻を行ふの慣習あるものなるが是れ尤も危險にして健康の者と云へとも人の口內には凡そ五十種程の細菌ありと云ふ之を思へば膓粟を生せさるものなからん况んや實布埀里亞若しくは肺結核に罹れる者にありては之れによりて忽ち傳染の不幸を見るに至ることあり

ストツガルトと云へる處の或る翫具屋の主人は元來梅毒症に罹り居りしが兒童の其店に來りて喇叭を求むるに當り每に種々の喇叭を自から吹き試めして此品良し彼の品劣れりとて賣りし爲め此店より喇叭を買ひ求めし百餘人の小兒は皆梅毒に罹るに至りしと云ふ實に注意すへきことならずや

◉牡蠣の營養價値

牡蠣の營養價値に就きては議論まち〱にして甲は莫大の滋養物ありと云ひ乙は毫も營養物に非すと唱へ來りしが近頃佛國の化學者シヤチン及マンツの兩氏の分拆によれは牡蛎は比較的大量の燐酸を含むものにして其量凡〇、〇三乃至〇、〇二瓦の間を昇降すといふ

◉衛生上の葡萄

葡萄は其味美なると同時に驚くへき滋養力を持てり其酸味あるは消化を助くる事最も大なる所以にして且其特性として著るしき藥効を人躰に與ふるものあり而して之を食するに朝餐と點心とにより

其調理法を異にするを要す點心の塲合には其皮と核とを去りて肉及其液の部分に一匕の砂糖を加へ之に林檎酒、設里酒の類を和し倘香氣あるものを點すへし又朝餐の塲合に於ては橙子を食する法に傚ひ少量の砂糖を加へて食すべし斯くして食する時は其衛生に利益を與ふること頗る大なりといふ

●大日本婦人衛生會新潟縣支會設立

（二件私立衛生雜誌）

本會々員中野悦子在京の節は本會幹事として頗る斡旋の勞を取られしが過る頃より新潟縣地方へ轉住せらるゝや一支會設立の爲め日夜焦慮せられ土地の醫學士淺田決君に此事を圖りたるに同氏も大に賛成せられ兩氏の盡力により愈々一支會を設立するに至り此程第一集會を開き取敢ず會長幹事等を撰擧せしに左の通決定せりといふ

會長　松本か代子

幹事　大島織兄子

同　淺田決君夫人

倘同地方會員は續々入會の摸様にて本月下旬には本會よりも祝辭等を送りて支會設立初會式擧行の筈なるが倘詳細の事は次號に讓ることゝなしぬ兎に角に會員の盡力により本會氣運も益々隆盛の域に達すへく眞に賀すべきなり

●大日本婦人衛生會總會

去月七日第一土曜日午後一時より麹町内山下町華族會館に於て總集會を開きたり總裁殿下には久し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く御不例の爲め御臨場あられられざりしが當日出席の會員四拾余名本會半年度收支決算事務報告等は一々掲示して會員に示し第一席ドクトル長與稱吉君には胃の養生法に就て講演せられ終りて暫時休憩會員に茶菓を饗し役員改撰を擧行せり次に醫學博士坪井次郎君には前會より引續きたる生理解剖學の講義ありて一同散會を告げしは四時半頃ありき

役員改撰の結果左の如く皆々承認せられたり

會長　子爵夫人　仁禮壽賀子
副會長　濱尾作子
幹事　鳩山春子
仝　西　靜子
仝　高木幸子
仝　北澤信子
仝　穂積雅樂子
仝　三浦敎子

仝　宮下咲子
評議員　濱田すて子
仝　加藤常子
仝　中濱芳子
仝　緒方悅子
仝　木内磯路子
仝　宮本樂子
仝　三井晴子
仝　松平芳子
仝　南部隈子
仝　西　升子
仝　坪井國子
仝　丹波貞子
仝　加藤すゝ子
仝　岡田德子
仝　馬渡玉子
仝　上野幾子
仝　中橋悅子
仝　羽田三緒子
仝　伯爵夫人　小笠原純子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仝　岩崎早苗子

廣告

○特別廣告○

去三月廿六日役員會を華族會館に開き本月四日の例會を廢し來る廿五日(第四土曜日)午後一時より三田綱町十番地本會長子爵夫人仁禮すか子殿邸内に於て春期懇親會相開餘興には如燕の軍談幷大神樂等の催しある事に相談定りたれば當日會員は申迄もなく會員外の方と雖も勉めて質素の服裝を旨とし多人數打連合ひ御出席あらん事を乞ふ

自明治二十八年九月至仝二十九年二月收支決算

收入之部

一金參百七十六圓貳拾四錢　會費集高

支出之部

一金參百六十八圓五十七錢三厘

内譯

金百〇參圓五十五錢	雜誌印刷料
金五圓八十八錢	諸印刷料
金拾貳圓五十錢	速記料
金參圓六十錢	切秘通信料
金貳拾貳圓	臨時費講師其他への謝禮
金貳拾參圓九十六錢九厘	會費雜誌通知集配手當
金四拾八圓	雜誌編輯事務給料
七圓五十錢	總會入費
金拾參圓六十七錢壹厘	初會入費
金四圓四拾五錢	器具料
金五圓參拾九錢七厘	筆墨紙料
金貳圓	通知端書
金拾貳圓拾貳錢五厘	郵稅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金九拾五圓　三井預金

金五圓參拾貳錢　會場費

金三圓四拾壹錢壹厘　雜費

收支差引

金九圓六拾六錢七厘　殘金

金參百五圓貳拾四錢六厘　三井預金

金參百拾四圓九十一錢三厘　現在在高

現在會員數

會員總數　七百四十八人

內譯

府下終身會員　拾六人

地方終身會員　四人

府下特別會員　貳拾八人

地方特別會員　四人

府下贊成員　四十七人

地方贊成員　十七人

府下通常會員　四百七十四人

地方通常會員　百二十四人

千葉支會々員　二十六人

寄送雜誌　四拾貳冊

寄送雜誌目錄次號に掲ぐ

寄附金

一金壹圓

右は去月七日總集會の際會員淸水とし子より寄附せられたるものなり玆に掲け其厚意を謝す

◉入會者

◉會員磯部勇代子の紹介により

駒込西片町十番地の二十九號

通常會員　細木富美子

◉會員酒井鑄子の紹介により

日本赤十字社病院　加藤貞子

◉地方會員中野悅子の紹介により

新潟市西堀通三番町三十二番戸
通常會員 相生まん子
仝市九番町 仝 中村きん子
仝旭町一番町二番地仝 澤田とも子
仝新潟病院内 仝 星野よし子
仝所 仝 春日井き代子
仝營所通り二番町三十九番地
仝 高橋あみ子
仝學校町通り二番町百五十七番地
仝 大島おりえ子
仝町百七十七番戸 仝 安田小鹿子
仝上旭町一番町四十五番戸 仝 安達よし子
仝北蒲原郡大中島大字泉村
仝 大久保きよし子

◉會員千種八百子の紹介により
日本赤十字社病院 中山春江子
仝所 坂本良子

◉事務所へ申込により
本郷元町四十七番地秋間方 秋田春子

◉副會長濱尾作子の紹介により
小石川音羽七丁目十番地
賛成員 鳩山和夫君

◉評議員馬渡玉子の紹介により
麹町五番町 特別會員 野崎夫人
下谷茅町二丁目四番地根岸方 本間ゑん子

◉會員柳川菊子の紹介により
横濱十全醫院 大内しげ子
仝所 坂本よし子

◉會員岡秀子の紹介により
宮城縣柴田郡村田町通常會員 小原宮路子

◉轉居

神田駿河臺鈴木町一番地へ 牧野清子
南豐島郡澁谷村字堀の内へ 長森ひで子
麹町平河町六丁目十三番地へ 武富すみ子
仝有樂町二番地へ 澤とよ子
日本橋矢ノ倉櫻井病院内へ 沖ゑい子

大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し

但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身贊成會員（無會費）とすること有る可し

第七條　會本に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず

但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る

但幹事の分課を設けて　第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

但し演説の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　本會講義演説の際男子の傍聽を禁ず

但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日內務省許可

務所に引出置を得
第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の捺印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し
　但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割増とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す
　但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

第廿四條　三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍內に於て役員の評議を以て會細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支を設くることを得
　但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本〼役員の認可を經へし

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

（以下次號）

歯科診察

從午前八時
至午后五時

日本橋區本町二丁目十二番地
女醫歯科　高橋孝子

產室設立

今般產室を新設致候に付入室御望に可應候

京橋區南鍋町壹丁目六番地
產婆　多田なは

明治廿九年四月一日印刷
明治廿九年四月三日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衞生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德二郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可　第一金曜日發行　（定價金拾錢）